



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月30日

上場会社名 東北特殊鋼株式会社 上場取引所 東  
コード番号 5484 URL <https://www.tohokusteel.com/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 成瀬 真司  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 木村 利光 TEL 0224-82-1010  
半期報告書提出予定日 2024年11月13日 配当支払開始予定日 2024年12月3日  
決算補足説明資料作成の有無：無  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	10,793	0.8	694	38.5	761	28.3	547	△10.1
2024年3月期中間期	10,706	2.2	501	△36.3	593	△31.8	609	△9.2

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 321百万円 (△61.2%) 2024年3月期中間期 829百万円 (23.0%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	72.71	—
2024年3月期中間期	80.89	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	33,930		27,770			81.8
2024年3月期	34,793		27,569			79.2

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 27,770百万円 2024年3月期 27,569百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	10.00	—	16.00	26.00
2025年3月期	—	20.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2025年3月期における1株当たり中間配当金については、15円から20円に変更しております。中間配当金の変更および配当予想の修正の詳細につきましては、本日（2024年10月30日）公表いたしました「第2四半期（中間期）連結業績予想と実績との差異ならびに剰余金の配当（中間配当）および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,600	5.9	1,380	9.2	1,480	6.9	1,170	20.1	155.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	7,550,000株	2024年3月期	7,550,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	21,141株	2024年3月期	21,141株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	7,528,859株	2024年3月期中間期	7,528,902株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があることをお含みおきください。

なお、業績予想に関する事項は、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### （1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における世界経済は、地政学的なリスクは残るものの、各国のインフレーション抑制策を受け回復傾向にあります。一方でわが国経済は、主要企業における賃上げにより名目賃金が上昇しましたが、インフレーションや円安による物価高騰で実質賃金は減少傾向にあり、内需の回復は鈍化しております。

特殊鋼業界の主要な需要先である自動車産業においては、部品メーカーの在庫調整が部分的に進展し、需要回復の兆しが見えてきました。しかしながら、複数の自動車メーカーにおける型式認証の不正問題により一部車種の国内生産が停止しており、特殊鋼の需要は当初の計画を下回りました。

このような環境の中、当社グループの特殊鋼事業につきましては、電磁ステンレス鋼などの高単価品の海外向け受注が回復したことで売上高は前年同期実績を上回りました。また、昨年度より継続している固定費削減等の原価低減活動により、利益面でも前年同期実績を上回り、増収増益となりました。

不動産賃貸事業につきましては、賃料値上げと修繕費用の減少等により売上高と利益は前年同期実績を上回り、増収増益となりました。

当社グループ全体では、特殊鋼事業の増益額により当中間連結会計期間における営業利益と経常利益は前年同期実績を上回りました。しかし、前年同期に計上した政策保有株式の売却益等の特別損益の影響により、当中間連結会計期間における親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期実績を下回りました。

その結果、当中間連結会計期間における売上高は前年同期に比べ86百万円増の10,793百万円となりました。経常利益は前年同期に比べ167百万円増の761百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期に比べ61百万円減の547百万円となりました。

なお、当年度は「2026中期経営計画」を策定しており、その中で当年度は連結売上高23,000百万円、連結営業利益1,400百万円の計画としておりました。この計画値は当年度の連結業績予想である連結売上高22,600百万円、連結営業利益1,380百万円をもととしております。この連結業績予想に対する当中間連結会計期間の進捗率は連結売上高が47.8%、連結営業利益が50.3%となります。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### ①特殊鋼事業

売上高は前年同期に比べ86百万円増の9,620百万円、セグメント利益（営業利益）は184百万円増の147百万円となりました。

#### ②不動産賃貸事業

売上高は前年同期に比べ0百万円増の1,173百万円、セグメント利益（営業利益）は8百万円増の547百万円となりました。

### （2）当中間期の財政状態の概況

#### ① 資産、負債および純資産の状況

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ863百万円減少し、33,930百万円となりました。主な要因は次のとおりであります。

・棚卸資産の圧縮を進めたこと等により商品及び製品が359百万円、仕掛品が178百万円、原材料及び貯蔵品が343百万円各々減少しております。

一方、当中間連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ1,064百万円減少し、6,159百万円となりました。主な要因は次のとおりであります。

・原材料仕入の減少等により支払手形及び買掛金が394百万円、電子記録債務が328百万円各々減少しております。

また、当中間連結会計期間末の純資産は、親会社株主に帰属する中間純利益547百万円を主な要因として、前連結会計年度末に比べ200百万円増加し、27,770百万円となりました。以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.6ポイント上昇し、81.8%となりました。

#### ② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ843百万円増加し、8,166百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における営業活動による資金収支は、927百万円の増加（前年同期は952百万円の増加）となりました。これは、税金等調整前中間純利益761百万円に、プラス要因として減価償却費421百万円、棚卸資産の減少額856百万円、マイナス要因として、仕入債務の減少額698百万円、法人税等の支払額119百万円等を調整した結

果によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における投資活動による資金収支は、26百万円の増加（前年同期は249百万円の減少）となりました。これは、プラス要因として有価証券の償還による収入400百万円、投資有価証券の売却による収入206百万円、マイナス要因として有形固定資産の取得による支出407百万円、無形固定資産の取得による支出130百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における財務活動による資金収支は、120百万円の減少（前年同期は136百万円の減少）となりました。これは、配当金の支払額120百万円等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期業績予想につきましては、2024年5月14日に公表しました予想値から変更はありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,027,078	7,916,267
受取手形	94,565	13,378
売掛金	3,170,911	2,787,082
電子記録債権	1,772,826	2,333,052
有価証券	950,000	850,000
商品及び製品	1,047,361	687,574
仕掛品	1,760,423	1,581,805
原材料及び貯蔵品	1,371,492	1,028,179
その他	412,442	198,068
貸倒引当金	△455	△439
流動資産合計	17,606,646	17,394,969
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,036,845	3,942,329
機械装置及び運搬具(純額)	3,284,503	3,136,160
工具、器具及び備品(純額)	258,974	282,400
土地	2,296,429	2,303,720
建設仮勘定	76,319	134,117
その他(純額)	20,105	18,250
有形固定資産合計	9,973,178	9,816,978
無形固定資産		
無形固定資産	170,652	289,080
投資その他の資産		
投資有価証券	6,626,515	5,968,056
繰延税金資産	183,879	193,506
その他	233,351	270,173
貸倒引当金	△378	△2,383
投資その他の資産合計	7,043,367	6,429,352
固定資産合計	17,187,198	16,535,411
資産合計	34,793,845	33,930,380

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,811,293	1,417,235
電子記録債務	1,465,236	1,136,278
未払法人税等	134,373	135,486
賞与引当金	320,344	342,448
役員賞与引当金	750	—
その他	1,356,255	977,043
流動負債合計	5,088,253	4,008,492
固定負債		
長期預り金	1,846,624	1,846,624
修繕引当金	114,280	133,720
退職給付に係る負債	91,029	97,672
繰延税金負債	80,282	70,334
その他	3,864	3,134
固定負債合計	2,136,080	2,151,485
負債合計	7,224,334	6,159,978
純資産の部		
株主資本		
資本金	827,500	827,500
資本剰余金	560,993	560,993
利益剰余金	24,974,238	25,401,168
自己株式	△18,441	△18,441
株主資本合計	26,344,290	26,771,221
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,163,522	916,327
為替換算調整勘定	61,698	82,853
その他の包括利益累計額合計	1,225,220	999,180
純資産合計	27,569,511	27,770,402
負債純資産合計	34,793,845	33,930,380

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	10,706,770	10,793,674
売上原価	9,200,815	9,070,782
売上総利益	1,505,955	1,722,892
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	146,498	157,038
給料及び手当	271,982	276,824
賞与引当金繰入額	102,026	95,887
退職給付費用	10,871	14,083
その他	473,052	484,508
販売費及び一般管理費合計	1,004,431	1,028,342
営業利益	501,523	694,550
営業外収益		
受取利息	17,847	17,538
受取配当金	19,542	22,788
仕入割引	9,591	8,374
為替差益	44,481	17,231
その他	15,485	14,024
営業外収益合計	106,948	79,957
営業外費用		
固定資産除却損	6,419	1,608
支払手数料	6,065	5,991
その他	2,404	5,477
営業外費用合計	14,890	13,077
経常利益	593,581	761,430
特別利益		
投資有価証券売却益	222,994	—
特別利益合計	222,994	—
特別損失		
投資有価証券評価損	40,000	—
特別損失合計	40,000	—
税金等調整前中間純利益	776,576	761,430
法人税、住民税及び事業税	183,342	127,642
法人税等調整額	△15,803	86,395
法人税等合計	167,539	214,037
中間純利益	609,036	547,392
親会社株主に帰属する中間純利益	609,036	547,392

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	609,036	547,392
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	147,626	△247,195
為替換算調整勘定	72,405	21,155
その他の包括利益合計	220,032	△226,039
中間包括利益	829,069	321,352
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	829,069	321,352

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	776,576	761,430
減価償却費	415,975	421,122
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△446	1,988
賞与引当金の増減額 (△は減少)	18,588	21,619
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,960	△750
修繕引当金の増減額 (△は減少)	25,560	19,440
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	5,277	6,291
受取利息及び受取配当金	△37,390	△40,327
支払手数料	6,065	5,991
為替差損益 (△は益)	△33,485	△18,653
投資有価証券評価損益 (△は益)	40,000	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△223,782	△1,035
固定資産除却損	6,419	1,608
有形固定資産売却損益 (△は益)	347	107
売上債権の増減額 (△は増加)	△50,603	△90,724
棚卸資産の増減額 (△は増加)	696,532	856,162
仕入債務の増減額 (△は減少)	△677,490	△698,641
未払消費税等の増減額 (△は減少)	153,803	△39,868
未収消費税等の増減額 (△は増加)	73,829	—
その他の資産の増減額 (△は増加)	△175,802	△32,576
その他の負債の増減額 (△は減少)	18,152	△156,441
その他	△0	△4,769
小計	1,035,167	1,011,972
利息及び配当金の受取額	37,786	40,757
災害損失の支払額	△40,590	—
法人税等の支払額	△73,644	△119,680
その他	△6,065	△5,991
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>952,654</b>	<b>927,057</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△46,170
有価証券の償還による収入	—	400,000
有形固定資産の取得による支出	△268,844	△407,953
無形固定資産の取得による支出	△48,802	△130,282
投資有価証券の取得による支出	△343,588	△262
投資有価証券の売却による収入	411,800	206,720
従業員に対する貸付けによる支出	△250	△1,200
従業員に対する貸付金の回収による収入	299	944
その他	289	4,410
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△249,094</b>	<b>26,207</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△135,406	△120,335
その他	△698	△616
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△136,104</b>	<b>△120,951</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	13,018	10,944
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	580,473	843,258
現金及び現金同等物の期首残高	5,138,983	7,323,418
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,719,457	8,166,677

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	特殊鋼事業	不動産賃貸事業	中間連結 損益計算書 計上額
売上高			
外部顧客への売上高	9,533,946	1,172,823	10,706,770
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	9,533,946	1,172,823	10,706,770
セグメント利益又は損失（△）	△37,386	538,909	501,523

（注）セグメント利益又は損失（△）の合計は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当中間連結会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	特殊鋼事業	不動産賃貸事業	中間連結 損益計算書 計上額
売上高			
外部顧客への売上高	9,620,266	1,173,408	10,793,674
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	9,620,266	1,173,408	10,793,674
セグメント利益	147,399	547,151	694,550

（注）セグメント利益の合計は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。